

2021年5月27日

2021年夏のボーナス予想について

佐賀銀行（頭取 坂井 秀明）は、佐賀県内における今年の夏のボーナス支給額について、下記のとおり推計しましたので、お知らせいたします。

記

1. 推計結果の特徴

- (1) 官公庁のボーナス総支給額は前年比1.84%減になると推計いたしました。
- (2) 民間のボーナス総支給額については、前年比4.58%減になると推計いたしました。
- (3) この結果、官民合計のボーナス総支給額については、前年比3.86%減になるものと推計いたしました。

支給総額

	2021年夏		2020年夏	
		前年比		前年比
官公庁	160億	-1.84%	163億	0.62%
民間	438億	-4.58%	459億	-15.63%
合計	598億	-3.86%	622億	-11.90%

※表中の数字は単位未満を切り捨てしています。

※民間の事業所については、従業員数5人以上について推計しています。

2. 推計の根拠

(1) 官公庁について

今夏の期末・勤勉手当（ボーナス）の支給月数は、国家公務員および、佐賀県職員と佐賀県内市町公務員において2.225ヵ月分（昨年夏季2.25ヵ月分）と想定し算出いたしました。

支給対象職員数は若干増加していますが、昨年の人事院勧告等で、支給倍率が引き下げられたことから、夏季のボーナス総支給額は前年比約3億円減の160億円と推計いたしました。

(2) 民間について

県内経済は、個人消費を中心に緩やかに持ち直しつつあるものの、新型コロナウイルス感染状況に大きく左右されるなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。佐賀県内の法人企業景気予測調査においても、令和2年度は全産業平均で減益の見通しとなっています。そのような中、今年度の支給対象人員は昨年夏季比で2.53%と減少、賃金についても減少傾向にあると想定されます。

支給倍率については、昨年コロナ禍による景気の不透明感を背景に減少に転じており、今年度もコロナ禍の状況の警戒感から増加は見込めないことから、1.08ヶ月（昨年比並み）と想定し算出いたしました。

支給総額は前年比約24億円減の598億円と推計いたしました。

以上

本件に関するお問合せ先

総合企画部（落合）
TEL 0952(25)4553

このまちで、あなたと



佐賀銀行